

多賀城市震災復興計画

主な復興事業の進捗状況報告

平成27年4月末時点

目次

・災害公営住宅建設	1
・土地区画整理	6
・災害廃棄物撤去処理	8
・津波復興拠点整備	9
・復旧	11
・多重防御整備	13
・緊急避難路整備(道路)	14
・緊急避難路整備(橋梁耐震化)	15
・雨水対策	17
・進捗率算出方法	19

復興施策1 「絆」・「つながり」を前提とした、健やかな「暮らし」の確保と、活力ある「しごと」の創出

〈復興基本事業〉 1 被災者の生活再建支援と居住地の確保支援

① 災害公営住宅建設

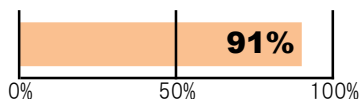
(1) 事業概要

東日本大震災による地震・津波被害を受け、住宅を失い自力再建が困難な被災市民が安心して居住できる場の確保を目指して、居住地の提供を図るための災害公営住宅整備を行います。

(2) 着手率

(H27.4月末時点)

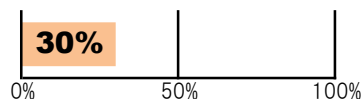
着手した戸数 482戸
整備予定戸数 532戸



(3) 完成率

(H27.4月末時点)

完成した戸数 160戸
整備予定戸数 532戸



(4) 対象事業

対象事業名	整備戸数	実施事項 (H27.4月末時点)	完成時期	担当課等
桜木地区災害公営住宅整備事業	160	完成	平成26年10月	復興建設課
鶴ヶ谷地区災害公営住宅整備事業	274	工事	平成28年 2月	
新田地区災害公営住宅整備事業	48		平成27年 9月	
宮内地区災害公営住宅整備事業	50	—	平成28年6月目標	

■ 位置図



- ① 桜木地区災害公営住宅
- ② 鶴ヶ谷地区災害公営住宅
- ③ 新田地区災害公営住宅
- ④ 宮内地区災害公営住宅

完 成

桜木地区災害公営住宅

平成26年10月17日に完成し、入居式を実施しました。現在は、ほぼ全戸の入居が完了し、被災者の皆さんの新しい生活が始まっています。



▲入居式・テープカットの様子



▲入居式・入居者への鍵の引渡の様子

■位置図



■全景写真



完 成

■桜木地区災害公営住宅の特徴



【特徴①】

災害に強い「安全な」まち

1階部分を非居住（ピロティ構造）とし、
屋上等には避難場所・防災倉庫を設置



▲ 1階部分（ピロティ構造）



▲ 避難階段

【特徴②】

子供も高齢者も「住みやすい」まち

多世代間交流を可能とする保育所と
高齢者支援施設を併設



▲ 多賀城市桜木保育所

【特徴③】

居住者と地域の人が「ふれあう」まち

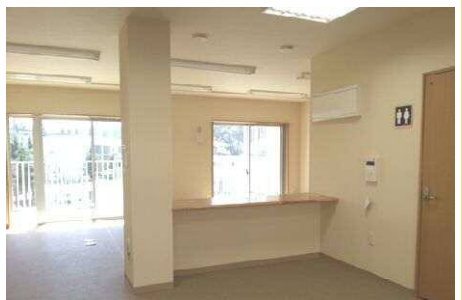
各棟の2階を連絡通路でつなぎ、
被災者の交流スペースを設置



▲ 被災者の交流スペース
（みんなのリビング）



▲ 各棟2階をつなぐ連絡通路
（コミュニティデッキ）



▲ 高齢者生活相談所

鶴ヶ谷地区災害公営住宅

平成26年9月3日に起工式を行い、建設工事に着手しました。
平成28年2月の完成を目指しています。

■位置図



▲鶴ヶ谷地区及び新田地区災害公営住宅
合同起工式の様子



▲鶴ヶ谷地区基礎・躯体工事の様子
(平成27年3月)

【附帯施設】

- ・津波避難ビル機能
- ・集会所
- ・高齢者生活相談所 など

■完成予想図①



■完成予想図②



新田地区災害公営住宅

平成26年9月3日に起工式を行い、建設工事に着手しました。
平成27年9月の完成を目指しています。

■位置図



▲3号棟:3F躯体工事の様子(平成27年3月)



▲1、2号棟:3F躯体工事の様子(平成27年3月)

【附帯施設】

- ・一時避難場所機能
- ・集会所
- ・高齢者生活相談所 など

■完成予想図



▲市道から七北田川方面を見た完成予想

復興施策1 「絆」・「つながり」を前提とした、健やかな「暮らし」の確保と、活力ある「しごと」の創出

〈復興基本事業〉 1 被災者の生活再建支援と居住地の確保支援

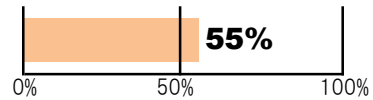
② 土地区画整理

(1) 事業概要

東日本大震災による地震・津波被害を受け、全壊割合が100%近い状況となった宮内地区において、居住者、地権者が安心して現地再建を行えるための居住地環境向上を目指して、宅地の再整理、生活基盤の整備を行います。

(2) 進捗率

(H27.4月末時点)



(3) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
宮内地区被災市街地復興土地区画整理事業	調査設計、用地買収、工事	市街地整備課

■ 位置図



■進捗状況

平成27年3月19日に造成工事事業者により安全祈願祭が行われ、工事に着手しました。事業完了予定は平成29年度末頃です。



▲安全祈願祭での鍬入れの様子

■土地利用計画図



復興施策1 「絆」・「つながり」を前提とした、健やかな「暮らし」の確保と、活力ある「しごと」の創出

〈復興基本事業〉 6 生活環境の改善向上とがれき処理の推進

③ 災害廃棄物撤去処理

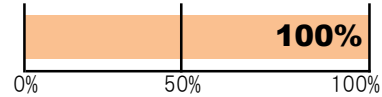
(1) 進捗率

市民の生活再建及び事業者再建のため、東日本大震災により発生した大量の災害等廃棄物を早期に回収し、その処理・処分を行います。

(2) 進捗率

(H25.12月末時点)

処理済量	35万トン
推計量	35万トン



(2) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H25.12月末時点)	担当課等
災害廃棄物処理事業	完了	生活環境課
被災家屋解体事業		
災害廃棄物撤去事業		都市計画課
被災車両撤去処分業務		道路公園課

■ 状況写真(災害廃棄物仮置場)



平成24年3月 時点

完了

平成26年1月 時点



復興施策2 既存産業の再興促進と立地支援の強化

〈復興基本事業〉 2 既存企業の立地促進と新たな産業・技術の集積促進

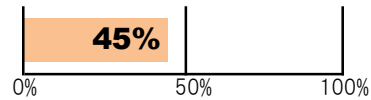
④ 津波復興拠点整備

(1) 事業概要

東日本大震災の被害を踏まえ、今後の大津波に備えて、災害時における物資供給等の防災機能と被災企業の操業継続を後押しする産業復興支援機能を有する拠点団地の整備を行います。

(2) 進捗率

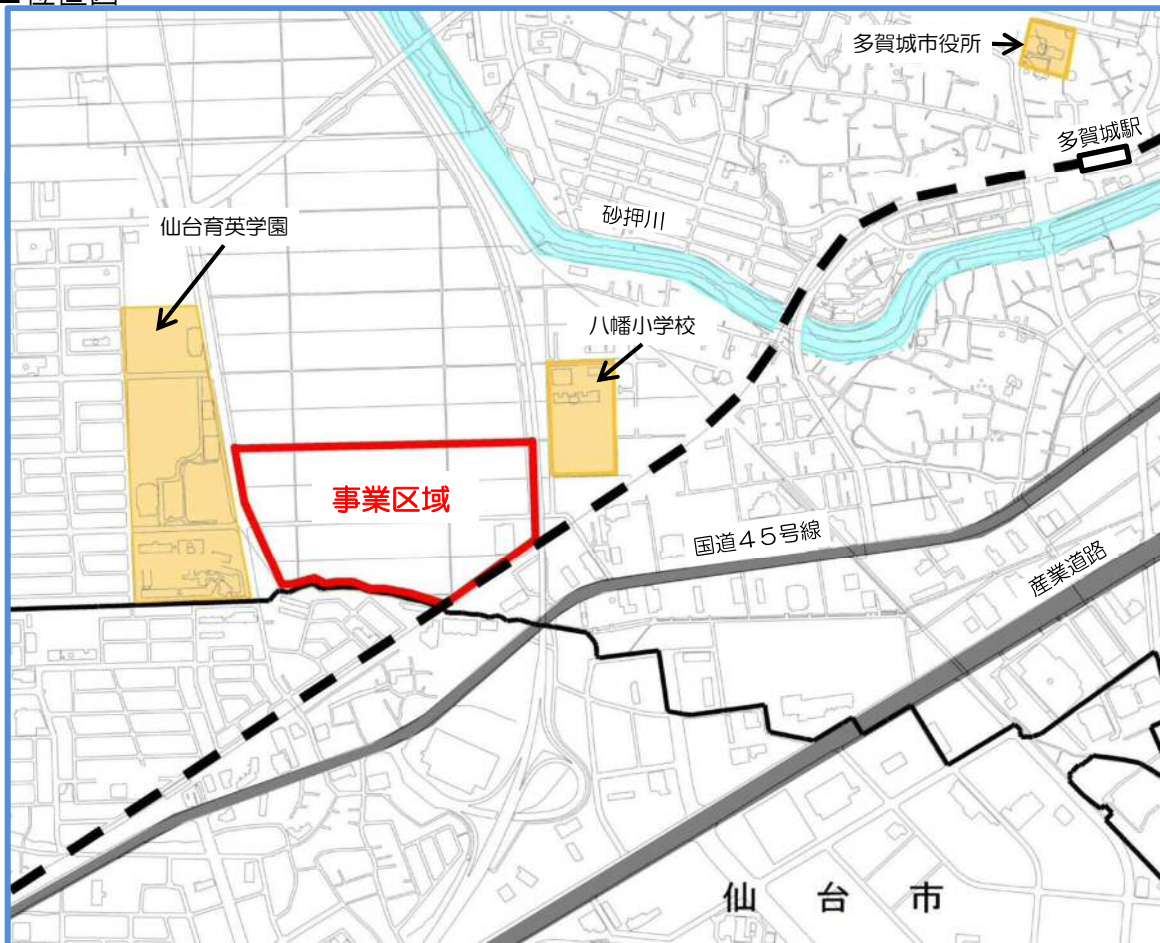
(H27.4月末時点)



(3) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
多賀城市津波復興拠点整備事業 (多賀城市津波復興拠点整備基礎調査検討事業含む)	用地買収、工事	震災復興 推進局

■ 位置図



■進捗状況

平成26年10月20日に造成工事事業者により安全祈願祭が行われ、工事に着手しました。工事は、平成28年度の完成を目指し、順次立地する企業の工場建設が始まる予定です。

現在、この拠点団地には、7社の企業(製造業等)の立地が決定しています。



▲造成工事の様子(平成27年4月)

■土地利用計画図



■完成予想図



復興施策3 早期復旧の実現

<復興基本事業> 1 復旧事業の推進

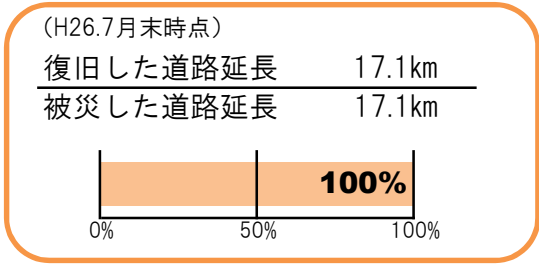
⑤ 復旧

(1) 事業概要

東日本大震災により被災した各公共施設の復旧整備を行います。

■ 道路復旧

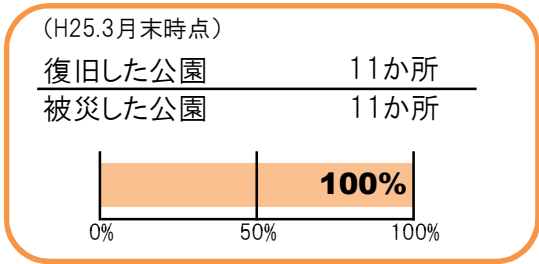
完了



対象事業名	道路等災害復旧事業
実施事項 (H26.7月末時点)	完了
担当課等	道路公園課・復興建設課

■ 公園復旧

完了



対象事業名	公園等災害復旧事業
実施事項 (H25.3月末時点)	完了
担当課等	道路公園課・復興建設課

※状況写真（桜木公園）



復興施策3 早期復旧の実現

〈復興基本事業〉 1 復旧事業の推進

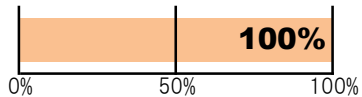
■ 公共下水道雨水施設復旧

完了

(H25.7月末時点)

復旧した雨水管延長 1,191m

被災した雨水管延長 1,191m



対象事業名	公共下水道雨水施設 災害復旧事業
実施事項 (H25.7月末時点)	完了
担当課等	下水道課

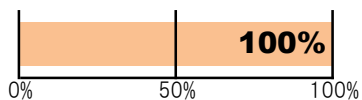
■ 公共下水道污水施設復旧

完了

(H27.2月末時点)

復旧した污水管延長 5,804m

被災した污水管延長 5,804m



対象事業名	公共下水道污水施設 災害復旧事業
実施事項 (H27.2月末時点)	完了
担当課等	下水道課

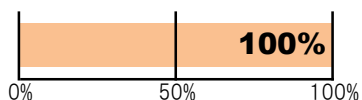
■ 市立小・中学校復旧

完了

(H25.3月末時点)

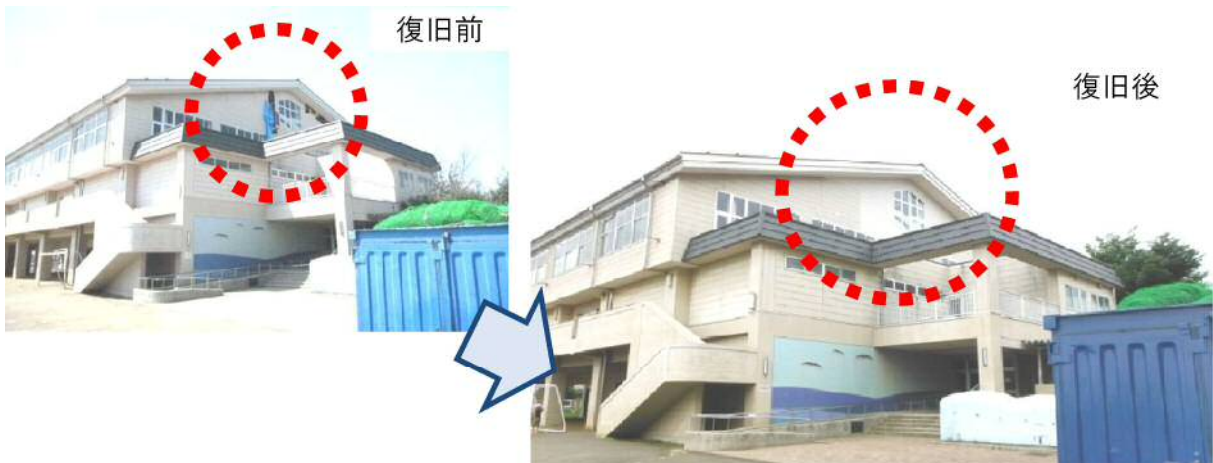
復旧した学校等 11施設

被災した学校等 11施設



対象事業名	小学校施設災害復旧事業 中学校施設災害復旧事業
実施事項 (H25.3月末時点)	完了
担当課等	教育総務課

※状況写真（多賀城東小学校体育館）



復興施策4 減災対策の充実強化

〈復興基本事業〉 1 津波に対する多重防御の整備

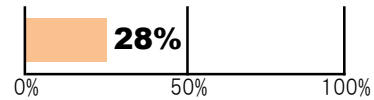
⑥ 多重防御整備

(1) 事業概要

今後想定される最大級の津波による居住地の浸水深を2m未満とし、流速を最大限抑え、津波到達時間を極力遅らせるとともに、がれき、自動車等の流入物を捕捉して市街地住宅の被害軽減を目指して、津波防御のための多重防御施設の整備を進めます。

(2) 進捗率

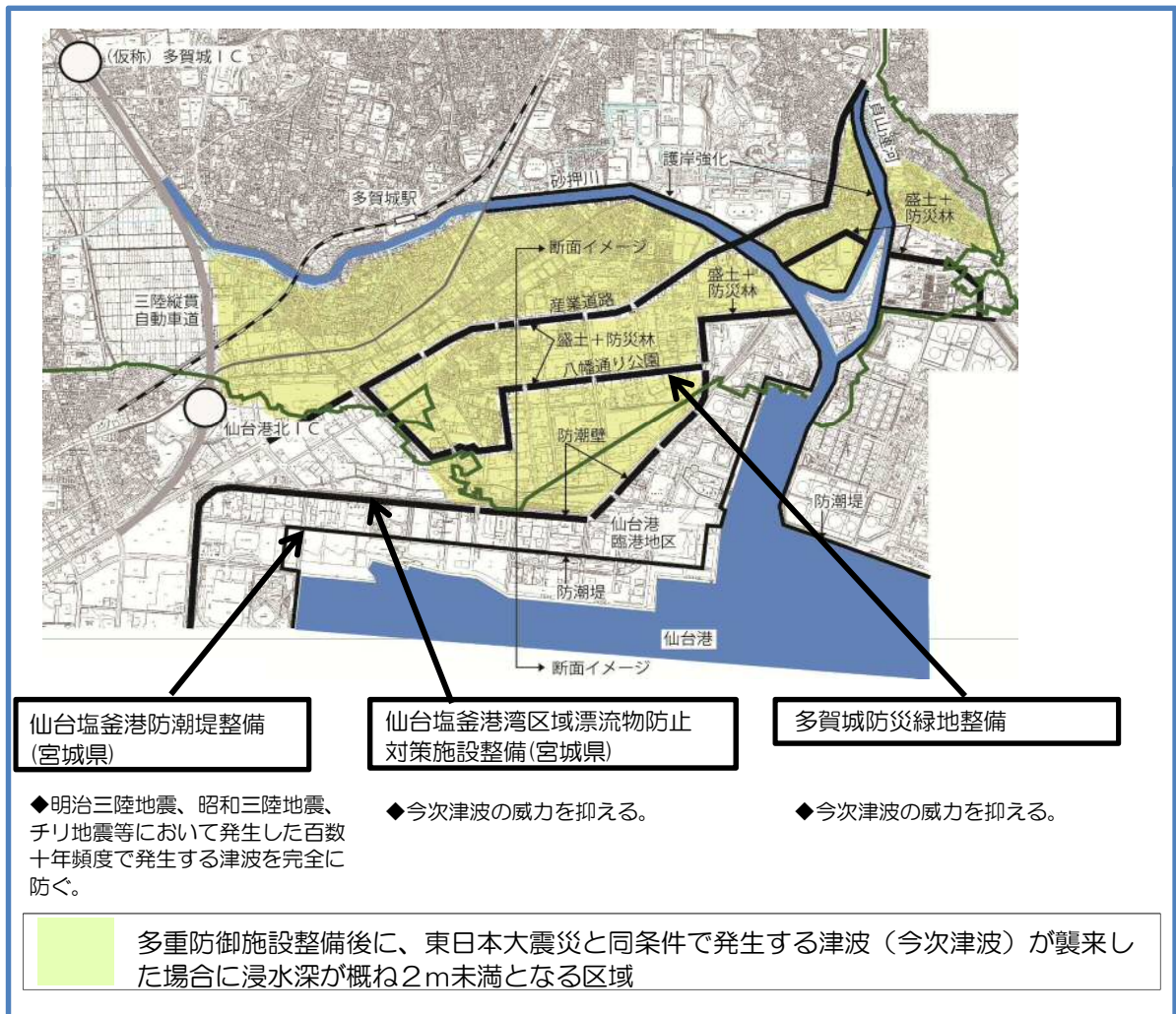
(H27.4月末時点)



(3) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
仙台塩釜港防潮堤整備(宮城県)	工事、用地買収	震災復興 推進局
仙台塩釜港湾区域漂流物防止対策施設整備(宮城県)	調査設計	
多賀城防災緑地整備事業	計画策定、土地利用調整	復興建設課

■ 位置図等



復興施策4 減災対策の充実強化

〈復興基本事業〉 2 避難拠点と避難経路の確保

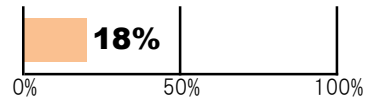
⑦ 緊急避難路整備

(1) 進捗率

今後の大津波に備えて、東日本大震災の津波により大きな被害を受けた地域から高台方向の市街地へのアクセス確保と物流機能確保を目指して、避難路・物流路を新たに整備します。

(2) 進捗率

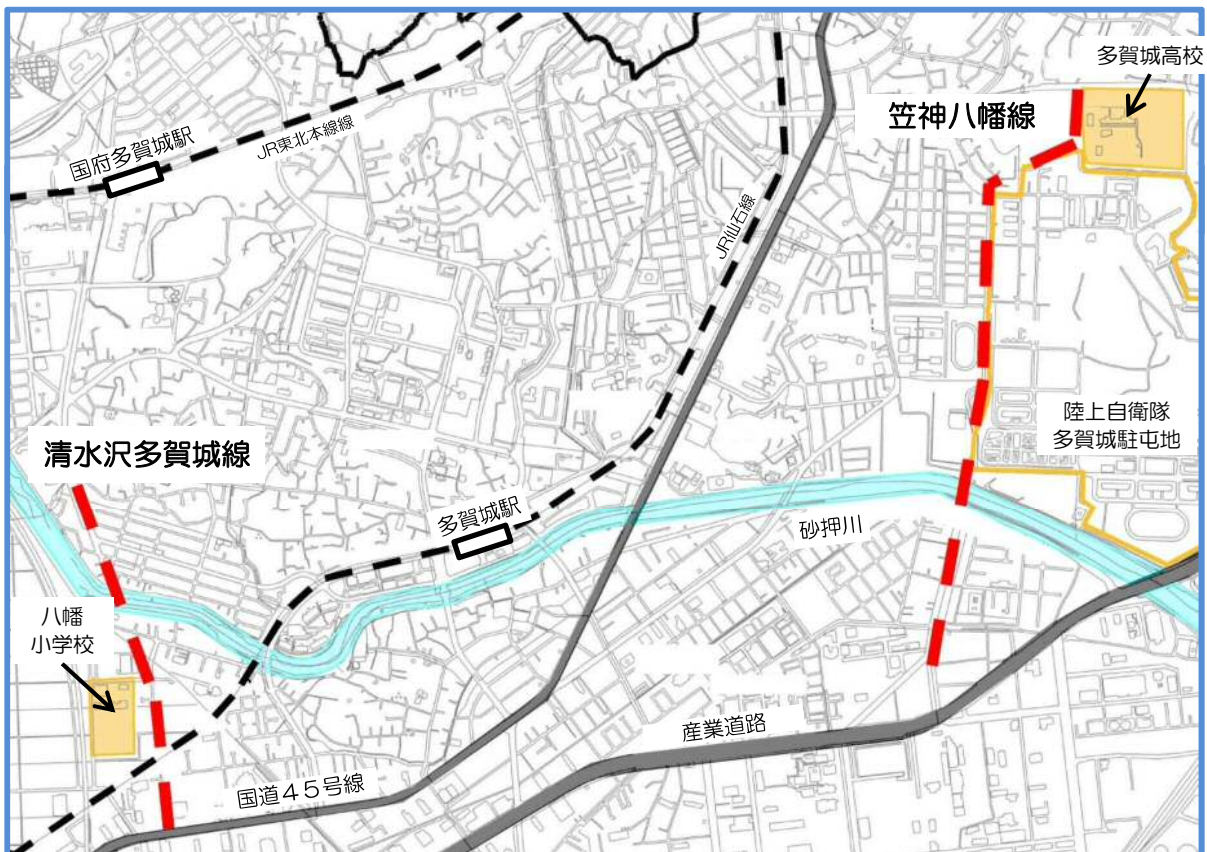
(H27.4月末時点)



(3) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
①緊急避難路・物流路(清水沢多賀城線)整備事業	用地買収、工事発注準備	復興建設課
②緊急避難路・物流路(笠神八幡線)整備事業	調査設計、用地交渉	

■ 位置図



復興施策4 減災対策の充実強化

〈復興基本事業〉 2 避難拠点と避難経路の確保

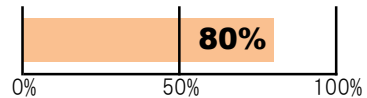
⑧ 緊急避難路整備(橋梁耐震化)

(1)事業概要

今後の大津波に備えて、東日本大震災の津波により大きな被害を受けた地域から高台方向の市街地へのアクセス確保と物流機能確保を目指して、避難路・物流路となる橋の耐震化整備を行います。

(2)進捗率

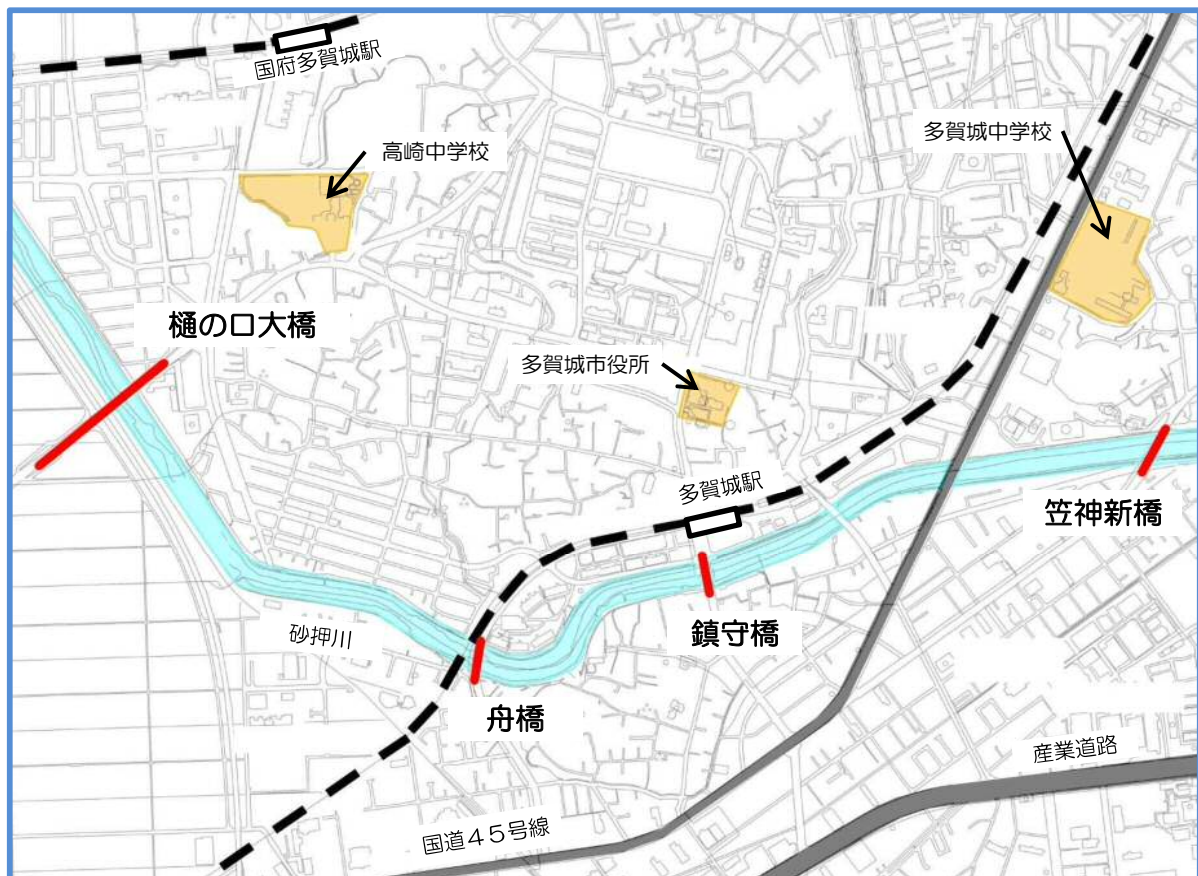
(H27.4月末時点)



(3)対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
緊急避難路整備事業(橋梁耐震化)(①樋の口大橋、②舟橋、③鎮守橋、④笠神新橋)	工事	復興建設課

■位置図

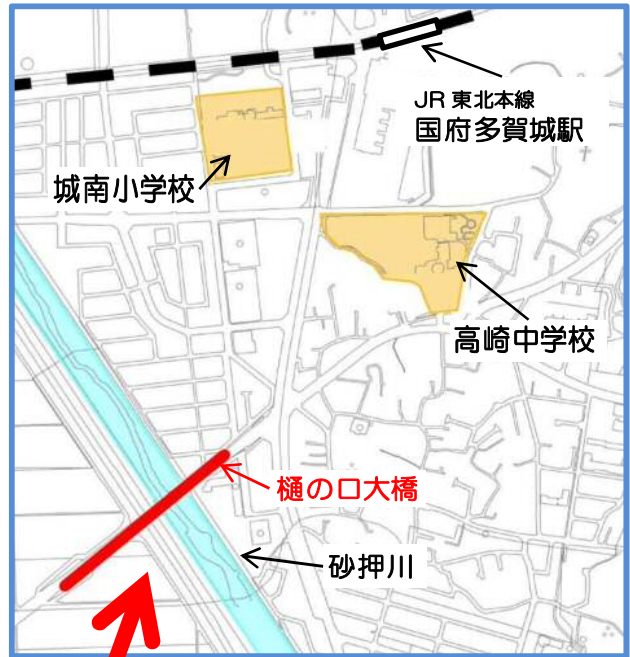


①樋の口大橋

完了



▲工事の様子（平成26年1月）



(写真の撮影方向)



▼完了後



樋の口大橋が耐震化
されました！

復興施策4 減災対策の充実強化

〈復興基本事業〉 4 総合治水対策の推進

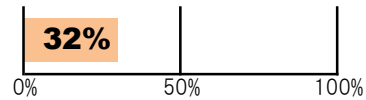
⑨ 雨水対策

(1) 事業概要

東日本大震災の地震による地盤沈下及び津波被害を踏まえ、内水排除困難地域(八幡、桜木、栄、明月、宮内、大代地区など)における排水機能の向上を目指して、雨水幹線、ポンプ施設等の整備を行います。

(2) 進捗率

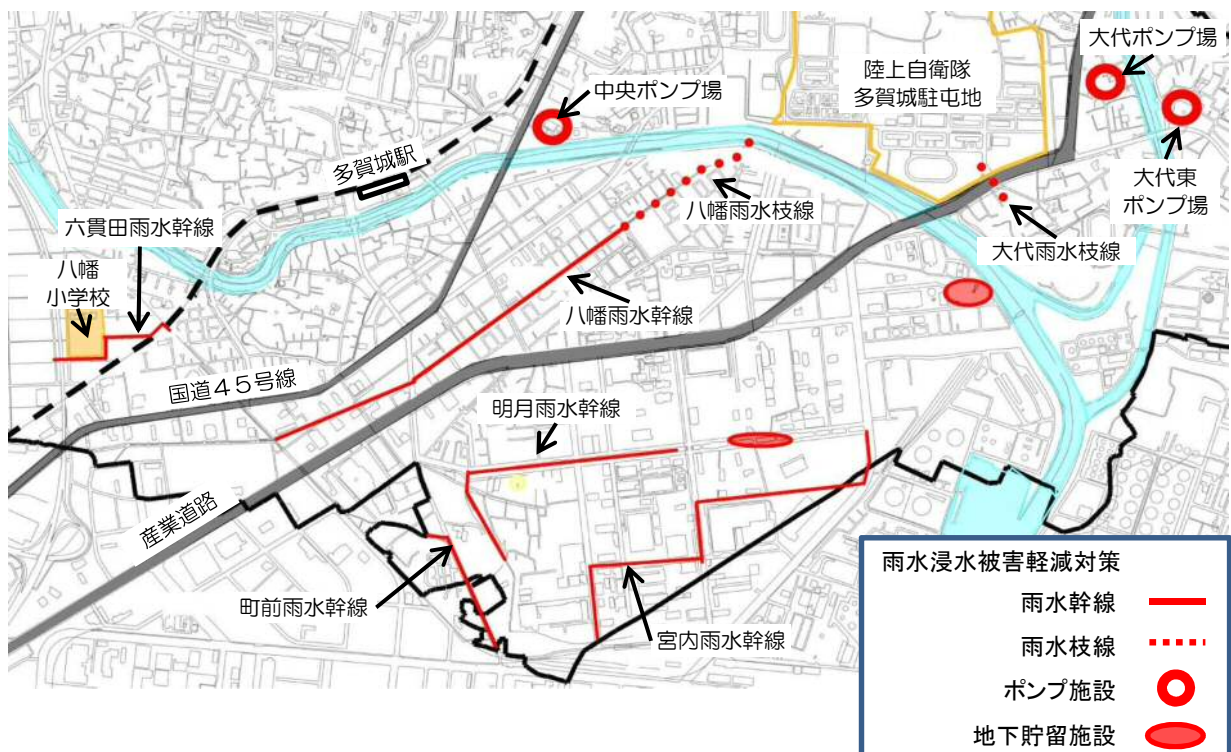
(H27.4月末時点)



(3) 対象事業

対象事業名	実施事項 (H27.4月末時点)	担当課等
浸水対策下水道整備事業		
1 雨水幹線等整備(宮内雨水幹線、八幡雨水幹線、明月雨水幹線、町前雨水幹線、八幡雨水枝線、大代雨水枝線等)	調査設計 (一部工事)	下水道課
2 六貫田雨水幹線整備	調査設計	
3 雨水ポンプ場整備(大代・大代東雨水ポンプ場)	調査設計	
4 雨水ポンプ場整備(中央雨水ポンプ場)	完了 (H26.2月)	
5 雨水地下貯留施設整備	調査設計	
内水排除困難地域側溝整備事業		
内水排除困難区域(栄、明月、宮内地区)	調査設計 (一部工事)	復興建設課

■ 位置図



中央雨水ポンプ場

完了



▲中央雨水ポンプ場外観の様子

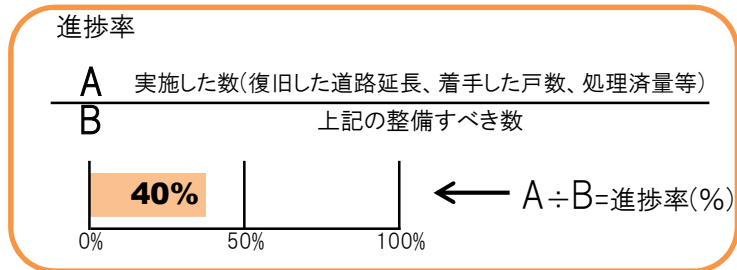


中央雨水ポンプ場の雨水ポンプが新たに整備され、雨水排水機能が強化されました！

進捗率算出方法

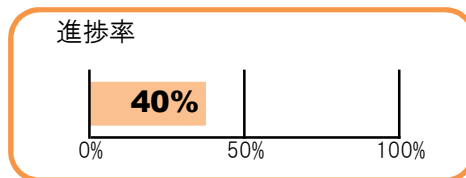
1. 災害公営住宅建設、災害廃棄物処理、復旧事業(復興施策3)について

<指標の例>



2. 上記以外の事業について

<指標の例>



下表を基に進捗を判断します。また、複数事業が含まれる事業に関しては、下表で算出された進捗率を平均して公表することとします。

項目	割合	判断基準					
		未契約	業務中	完了			
調査測量設計	10%	未契約	業務中	完了			
		0%	5%	10%			
用地買収 (地権者・周辺居住者・その他関係交渉含む)	50%	未交渉	1/4程度完了	半分程度完了	3/4程度完了	数人を残し完了	完了
		0%	10%	20%	30%	40%	50%
工事	40%	未契約	1/4程度完了	半分程度完了	3/4程度完了	少量の残工事、完了検査等を残すのみ	完了
		0%	10%	20%	30%	35%	40%
合計	100%						